

淀川水系河川整備計画原案に対する意見をおくります。

- 1、ダム建設は、政治問題だとつくづく感じます。
- 2、政策の違いは、見解の相違と言う事でいつまでも平行線ですね。
- 3、科学的データー・資料を持ち寄り審議すれば合意形成が可能と信じて淀川水系流域委員会を見守ってきました。
- 4、ところが、一致点が見出せない理由の一つに近畿地方整備局の頑ななダム建設ありきの姿勢があり、提出された環境に対する影響の資料も淀川水系流域委員会と相反する意見です。
- 5、科学者・専門家の貴重な意見も、河川法改正の立場で審議を積み上げるか、ダム建設で人間生活重視の政策立場で利便性を求めるかでこれほど意見が食い違うものかと、考えてしまいます。
- 6、特に、環境問題は立場が異なっても、一致点が見出せると淀川水系流域委員会に期待をしてきました。
- 7、各種委員会からの意見も出されていますが、淀川水系流域委員会として歴史に残る最終意見書をまとめられる事を切に願っています。
- 8、淀川水系流域委員会で淀川水系をはじめ、川上ダム建設を治水・利水・環境など、力一杯議論して下さい。ご期待申し上げます。

NPO 法人伊賀・水と緑の会 事務局畑中尚  
三重県伊賀市阿保 1289-1 0595-52-1721